

(1) 実施機関名：

気象庁

(2) 研究課題(または観測項目)名：

火山噴火シナリオの作成

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(2) 地震・火山現象に関する予測システムの構築

(2-2) 火山噴火予測システム

ア．噴火シナリオの作成

(4) その他関連する建議の項目：

2. 地震・火山現象解明のための観測研究の推進

(3) 地震発生先行・破壊過程と火山噴火過程

(3-3) 火山噴火過程

イ．噴火の推移と多様性の把握

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

各機関における噴火履歴、過去の噴火様式、マグマ組成の時間変化などの研究成果を参考にして、噴火警戒レベルの導入や噴火警報等発表時の防災対策を検討するための噴火シナリオの作成を進める。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

国土交通省の進める火山噴火緊急減災対策計画等と連携し、火山防災マップの作成とあわせて噴火シナリオの作成を進める。なお、作成した噴火シナリオ等は地方公共団体等における避難計画の検討に採用され、準備の整ったところから噴火警戒レベルの導入を進める。

さらに、あらたな研究成果が得られた場合には、それらを取り入れて、噴火シナリオの高度化を図る。

(7) 平成 22 年度成果の概要：

新潟焼山、焼岳および伊豆東部火山群の噴火シナリオについて修正作業を進めた。

新潟焼山は今年度から、関係機関によって構成される連絡会により、噴火警戒レベル導入に向けた協議に入った。また、焼岳でも、関係機関によって構成される協議会により、噴火警戒レベル導入に向けて協議が続けられている。それらの協議結果を受け、両火山の噴火シナリオを修正した。

伊豆東部火山群でも、関係自治体により構成される検討会にて噴火警戒レベル導入に向けた協議が進められている。そこでの協議結果、および、地震活動の予測情報が平成 23 年度から運用開始予定であることを受け、噴火シナリオを修正した。

(8) 平成 22 年度の成果に関連の深いもので、平成 22 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

無

(9) 平成 23 年度実施計画の概要 :

個々の火山の導入における問題点を整理するとともに、火山防災マップが既に整備されている火山等のうち、岩木山、秋田焼山、白山の 3 火山について、平成 24 年度までにレベルを導入するために、噴火シナリオ等の作成を終え、地元関係機関と導入に向けた行程について合意を得る。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

気象庁地震火山部・札幌管区气象台・仙台管区气象台・福岡管区气象台火山監視・情報センター
他機関との共同研究の有無 : 有
国土交通省砂防部局、関係大学等

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 地震火山部管理課 地震調査連絡係長

電話 : 03-3212-8341 (内線 : 4514)

e-mail : jmajishin_kanrika@met.kishou.go.jp

URL : <http://www.jma.go.jp>